

# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 3 号)

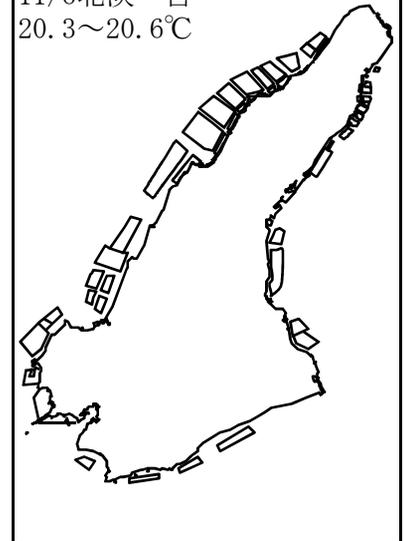
平成29年11月8日発行  
兵庫のり研究所

大阪湾において小型珪藻スケルトネマが優占的に大量発生しています。大阪湾に面する東浦漁場では、窒素・リンともに大きく減少しています。それ以外の漁場では珪藻の発生量は少なく、窒素は西浦漁場で概ね8  $\mu\text{g at / L}$ 前後、南浦漁場で7~12  $\mu\text{g at / L}$ でした。大阪湾漁場では、11日に冬型の気圧配置になる予報が出ていることから、風波の海水混合による海況の好転に期待したいところです。

(珪藻) 比較的穏やかな天候が続いていたこともあり、大阪湾ではスケルトネマの大量発生による赤潮が確認されている。発生量は東浦北部海域で10,000細胞/ml前後、南部海域で5,000細胞/ml前後とかなり多い。窒素は1~5  $\mu\text{g at / L}$ で調査地点により数値に大小を示したが減少している。灘漁場においてコシノディスカスが200細胞/Lと一部やや多く確認された以外は、淡路周辺全域で10~60細胞/Lであり増加は見られない。

水温図

11/6北淡一宮  
20.3~20.6℃



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	22.3	2.4	5.3	6.9
	リン	1.72	0.24	0.53	0.59
西浦地先	窒素	5.9	8.3	5.3	6.6
	リン	0.71	0.89	0.64	0.69
南浦地先	窒素	6.3	8.3	4.5	5.4
	リン	0.70	0.80	0.58	0.54

(10/26)

(11/8)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年11月7日調査

